

## 研究情報活動

## 1 研究成果の発表

## (1) 研究論文及び雑誌記事

## 1) 評価・食料政策に関する研究

## 農林水産政策の評価に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
わが国における市民参加型テクノロジー・アセスメント(pTA)の展望について	高橋祐一郎	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ(第2集)(危機管理プロジェクト研究資料)	3	2005. 7
アメリカの直接支払いについて	吉井邦恒	月刊NOSAI	57(7)	2005. 7
アメリカの農業保険制度について	吉井邦恒	月刊NOSAI	57(8)	2005. 8
新たな経営安定対策と収入変動	吉井邦恒	第41回東北農業経済学会宮城大会報告要旨		2005. 9
カナダの農業経営安定対策について	吉井邦恒	月刊NOSAI	57(9)	2005. 9
農林水産省の政策評価と政策体系化：現状と問題点	大山達雄, 吉井邦恒	現代図書		2006. 2

## 食料・農業・農村政策に関連する環境の評価に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
Inter-Village Cooperative Action and the Assessment of Multi-Functionality in Agriculture	伊藤順一	多面的機能政策の諸相と今後の展開(多面的機能プロジェクト研究資料)	1	2005.12
規制インパクト分析のフレームワークとコメのカドミウム吸収抑制対策に関する費用分析	久保香代子, 吉井邦恒	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ(第2集)(危機管理プロジェクト研究資料)	3	2005. 7
日本の多面的機能の議論と政策的課題	合田素行	グローバルエコノミーと北東アジア地域における農業の持続的発展(北東アジア農政研究フォーラム第3回国際シンポジウム)		2005.10
多面的機能維持のための政策研究と課題	合田素行	多面的機能政策の諸相と今後の展開(多面的機能プロジェクト研究資料)	1	2005.12
米沢地域における農業環境政策の受容可能性 アンケートを中心に	合田素行	多面的機能政策の諸相と今後の展開(多面的機能プロジェクト研究資料)	1	2005.12
Efficiency and Equity in Groundwater Markets: The Case of Madhya Pradesh, India	Kei Kajisa and Takeshi Sakurai	Environment and Development Economics	10(6)	2005.12

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
森林の多面的機能の実証 インド農村部における森林の水資源保全機能と健康維持機能について	櫻井武司, 夏原和美	多面的機能政策の諸相と今後の展開(多面的機能プロジェクト研究資料)	1	2005.12
環境支払いによる多面的機能の効率的な供給 行動経済学の政策適用	佐々木宏樹	多面的機能政策の諸相と今後の展開(多面的機能プロジェクト研究資料)	1	2005.12
環境支払いによる多面的機能の効率的な供給 行動経済学の政策適用	佐々木宏樹	2006年度日本農業経済学会大会報告要旨		2006. 3
農林業の環境負荷と多面的機能を考慮した新たな持続可能性評価手法に関する研究	高橋義文, 林 岳, 山本 充	2005年度日本農業経済学会論文集		2006. 3
農業の持続可能性の評価手法の開発	高橋義文	グローバルエコノミーと北東アジア地域における農業の持続的発展(北東アジア農政研究フォーラム第3回国際シンポジウム)		2005.10
多面的機能プロジェクト 環境会計と環境チェックソフトの開発を中心に	高橋義文, 林 岳, 合田素行	農林水産政策研究所レビュー	18	2006. 1
多面的機能の評価の試み 米沢市および滋賀県の事例	田中敦志	多面的機能政策の諸相と今後の展開(多面的機能プロジェクト研究資料)	1	2005.12
環境直接支払い制度は分かり易さが命	西尾 健	世界の農林水産	799	2005.12
コウノトリが羽ばたく国	西尾 健	農林水産政策研究所レビュー	18	2006. 1
酉年の暮れに	西尾 健	千代田フォーラム文集	13	2006. 1
環境負荷量の推計による農道整備の効果分析	伊藤寛幸, 林 岳, 山本 充	農林業問題研究	41(1)	2005. 6
多面的機能を組み込んだ環境会計の構築にむけて 農林水産業における環境会計導入の課題	林 岳	多面的機能政策の諸相と今後の展開(多面的機能プロジェクト研究資料)	1	2005.12
How Can We Evaluate Sustainability of the Agriculture?: An Evaluation by the NAMEA and the Ecological Footprint	Takashi Hayashi, Yoshifumi Takahashi and Mitasu Yamamoto	小樽商科大学商学討究	56(2-3)	2005.12

#### 食料の国際又は国内需給の変動要因の解明と動向予測に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
An Analysis of Effect of Long-Term Population Prospect on the World Grain Market	上林篤幸	2005年度日本農業経済学会論文集		2006. 3

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
米国産牛肉禁輸（2003年12月）以降のわが国のBSE対策および牛肉市場の動き	上林篤幸	畜産の情報（国内編）	4月号	2006. 3
Development of Vegetable Farming in South Korea: Comparison with Japan	香月敏孝	Farming Japan	40(2)	2006. 3
野菜生産の動向 1980年代以降の施設作の展開を中心に	香月敏孝	韓国農業の展開と戦略（FTA・WTOプロジェクト研究資料）	2	2006. 3
Measuring the Export Subsidy Equivalents (ESEs) through Price Discrimination Generated by Exporting State Trading Enterprises	Nobuhiro Suzuki, Junko Kinoshita, Toshiaki Jujii and Harry M. Kaiser	Journal of the Faculty of Agriculture Kyushu University	50(2)	2005.12
日本・韓国間生乳貿易の可能性	木下順子, 狩野秀之, 鈴木宣弘	九大農学芸誌	60(2)	2005.12
コメ生産権取引実験と制度設計への含意	佐々木宏樹	農林水産政策研究	9	2005. 6
コメ生産権取引実験と制度設計への含意	佐々木宏樹	農林水産政策研究所レビュー	17	2005.10
荷見安	千葉 修	近現代日本人物史料情報辞典	2	2005.12
食料・農業	吉田泰治	統計でみる日本2006（日本統計協会）		2005.11

#### 食料消費動向の解明及び食料消費政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
（書評）村田武編『再編下の世界農業市場』（21世紀の農業・農村 第1巻）	市田知子	農業経営研究	43(1)	2005. 6
BSE後のドイツの食肉トレーサビリティ 制度と実態	市田知子	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ（第2集）（危機管理プロジェクト研究資料）	3	2005. 7
アジア経済連携の進展と生乳需給への影響	木下順子, 鈴木宣弘	畜産の情報（国内編）	5月号	2005. 6
東アジアにおける生乳自由貿易の影響分析	木下順子, 永田依里	FTAと食料 評価の論理と分析枠組（鈴木宣弘編, 筑波書房）		2005. 7
The Degree of Vertical and Horizontal Competition Among Dairy Cooperatives, Processors, and Retailers	Junko Kinoshita, Nobuhiro Suzuki, Harry M. Kaiser	Journal of the Faculty of Agriculture Kyushu University	51(1)	2006. 3

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
日本人の牛乳消費は飽和したか	木下順子, 渡辺靖仁, 鈴木宣弘	平成 17 年度畜産物需給関係学術研究情報収集推進事業報告書		2006. 3
外食モデル店舗における野菜利用増大および普及啓発の効果検証について	小林茂典	平成 17 年度野菜等健康食生活協議会外食・中食野菜等利用増大検討小委員会報告書		2006. 3
オランダの食品安全行政	佐藤京子	在蘭日本商工会議所会報「かわら版」	190	2005. 3
食の安全と安心, および食の情報に関する消費者意識調査	鈴木由紀	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ(第2集)(危機管理プロジェクト研究資料)	3	2005. 7
食の安全と安心, および食の情報に関する大学生意識調査	鈴木由紀	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ(第2集)(危機管理プロジェクト研究資料)	3	2005. 7
農業・食品分野における専門知と参加型技術評価 フランスにおけるGMO研究を中心に	須田文明, 山口富子	科学技術社会論学会第4回年次研究大会予稿集		2005.11
信頼の獲得	西尾 健	セキュリティ研究	8(5)	2005. 5
農業・農政と国民の意識	西尾 健	新農業技術新報	1729	2006. 1
「牛の月齢判別に関する検討会」報告書に対する考察	樋口倫生, 吉田泰治	日本フードシステム学会2005年度大会個別報告要旨		2005. 6

#### 食料の生産から消費に至る供給システムの効率化及び安定化政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
沖縄甘じゃ糖業の現状と課題	井上荘太郎	2005 年度日本農業経済学会論文集		2006. 3
パン産業の競争性と価格の下方硬直性 推測的変動モデルによる実証分析	小島泰友	農業経済研究	77(1)	2005. 6
輸入関税削減及び農業効率向上がもたらす価格伝達性への相互的影響 「新しい産業組織論」に基づく理論的考察	小島泰友	日本フードシステム学会2005年度大会個別報告要旨		2005. 6
砂糖・甘味資源作物のフードシステムに関する実証分析 糖価調整制度下における甜菜直播の導入促進効果の試算	小島泰友	2005 年度日本農業経済学会論文集		2006. 3
たまねぎ, トマト, かぼちゃの生産・流通状況	小林茂典	平成 17 年度野菜等健康食生活協議会外食・中食野菜等利用増大検討小委員会報告書		2006. 3

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
トレーサビリティ導入における情報 ニーズと情報開示 フードチェーン の情報の非対称性について	高橋克也, 河野恵伸, 佐藤和憲, 大浦裕二	食, 農, 環境に関する政策 ニーズ等調査研究資料(先 駆者・支援プロジェクト研 究資料)	1	2005.11
失敗学について	高橋祐一郎	STAFF newsletter	16(5)	2005. 5
「望まない未来」を求める社会的合意 形成手法の設計	高橋祐一郎	科学技術社会論学会第4回 年次研究大会予稿集		2005.11
専門家と市民との意識の隔たり	高橋祐一郎	バイテクハウス Mail News	2006/3/1号	2006. 3
専門家が市民に対して行う情報提供の 効用と限界	高橋祐一郎	バイテクハウス Mail News	2006/3/10号	2006. 3
専門家と市民の社会的価値の違い	高橋祐一郎	バイテクハウス Mail News	2006/3/20号	2006. 3
社会的問題と科学の中立性	高橋祐一郎	バイテクハウス Mail News	2006/3/31号	2006. 3
(書評) 上路利雄・梶川千賀子共著『食 品産業の産業組織論的研究』	吉田泰治	フードシステム研究	12(1)	2005. 6

## 2) 地域振興政策に関する研究

## 農林水産業の経営構造及び農林水産業経営の発展のための政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
環境保全型農業の先駆的担い手・旭愛 農生産組合の展開過程 事業・会計 とライフストーリーの事例研究	相川良彦	食, 農, 環境に関する政策 ニーズ等調査研究資料(先 駆者・支援プロジェクト研 究資料)	1	2005.11
消費者の有機農産物購買行動に関する 一考察 JGSS2002 データを用いて	石田 章, 曾田陽久	農業市場研究	14(2)	2005.12
環境保全型農業等の生産者の政策ニ ーズに関する調査	足立恭一郎	食, 農, 環境に関する政策 ニーズ等調査研究資料(先 駆者・支援プロジェクト研 究資料)	1	2005.11
戦後改革期と農村女性 県における 生活改善普及事業の展開を手懸りに	市田知子	農村社会史(戦後日本の食 料・農業・農村第11巻, 農林統計協会)		2005.11
過剰就業論の今日的課題	伊藤順一	泉田洋一編『近代経済学的 農業・農村分析の50年』(農 林統計協会)		2005. 7
新規就農者の動向とその育成支援 農外からの新規参入者を中心として	江川 章	農業法研究	40	2005. 6
農業経営と農業労働管理の基礎	江川 章	農業経営・労働管理専門家 養成講座テキスト	55(8)	2005. 8
はくさいの生産・輸入等の動向に係る 実態調査	香月敏孝	野菜情報	17	2005. 8
集落営農の組織形態に関する研究 労働力構成を中心として	金子いづみ	東京大学学位請求論文		2005. 4

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
(書評) 細山隆夫著『農地賃貸借の地域差と大規模借地経営の展開』	金子いづみ	農業問題研究	59	2006. 3
品目横断政策の数量的分析手法	川崎賢太郎	2006年度日本農業経済学会大会報告要旨		2006. 3
野菜の加工・業務用需要の動向と今後の対応課題	小林茂典	農業および園芸	80(10)	2005.10
農業経営の環境変化と農協金融の対応に関する調査	両角和夫, 茂野隆一, 清水純一, 佐藤孝一, 福田竜一, 吉迫利英, 坂内 久, 尾中謙治, 林 省一	総研レポート(農林中金総合研究所)	調 - 7	2005. 8
認定農業者の経営支援政策の現状と課題	鈴村源太郎	農業経営研究	43(1)	2005. 6
農業経営者の経営者能力に関する実証的研究 わが国における認定農業者を対象として	鈴村源太郎	東京大学学位請求論文		2006. 1
認定農業者の経営改善に向けたマーケティング活動の現状と課題に関する調査結果	鈴村源太郎	全国農業会議所平成17年度経営情報総合調査分析事業農業経営基礎調査結果報告書		2006. 3
認定農業者の経営管理能力の実態と支援施策のあり方 認定農業者を対象としたアンケート調査結果から	鈴村源太郎	農業問題研究	59	2006. 3
青果物のトレーサビリティにおける情報伝達に関する一考察	河野恵伸, 高橋克也, 大浦裕二, 佐藤和憲	農林業問題研究	158	2005. 6
産地行動の視点からみた果樹経営安定対策の経済性	松下秀介, 高橋克也, 小野 洋	農業情報研究	14(3)	2005. 9
フードチェーンの情報ニーズと情報開示 情報の非対称性のノンパラメトリック検定	高橋克也	平成17年度日本農業経営学会研究大会報告要旨		2005. 9
担い手農家の形成プロセスの変化と新規就農	橋詰 登	農業と経済	71(4)	2005. 4

#### 農山漁村の社会安定化及び農林漁業者の福祉増進のための政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
美とその創造について	相川良彦	農民文学	269	2005. 4
農村における老後不安	相川良彦	社会保障研究	41(1)	2005. 6
元気な高齢者の地域人口分布とJAの高齢者対策	相川良彦, 田中一宏	高齢者が農業, 農村地域に果たす役割の影響分析(行政対応特別研究[高齢者]プロジェクト研究資料)		2005. 7

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
高齢化集落における農家家族 理論的検討と長野県松本市集落調査報告	相川良彦	高齢者が農業，農村地域に果たす役割の影響分析（行政対応特別研究〔高齢者〕プロジェクト研究資料）		2005. 7
課題と構成	相川良彦	山村留学の現状と課題 平成 15 年度全国アンケート調査報告書（ライフスタイルプロジェクト研究資料）	4	2005. 8
山村留学に対する留学生の意識	相川良彦	山村留学の現状と課題 平成 15 年度全国アンケート調査報告書（ライフスタイルプロジェクト研究資料）	4	2005. 8
日本の山村と高齢者の生活	相川良彦	グローバルエコノミーと北東アジア地域における農業の持続的発展（北東アジア農政研究フォーラム第 3 回国際シンポジウム）		2005.10
農村をめざす人々 ライフスタイルの転換と田舎暮らし	相川良彦， 會田陽久， 秋津ミチ子， 本城 昇	（筑波書房）		2006. 1
（書評）大内雅利著『戦後日本農村の社会変動』	市田知子	明治大学社会科学研究所紀要	44（1）	2005.10
多様化する農業への新規参入	江川 章	DAIRYMAN	55（7）	2005. 7
都市農村交流の新段階	江川 章	グローバルエコノミーと北東アジア地域における農業の持続的発展（北東アジア農政研究フォーラム第 3 回国際シンポジウム）		2005.10
新規参入からみた農村社会の展望	江川 章	農村社会史（戦後日本の食料・農業・農村第 11 巻，農林統計協会）		2005.11
Relations between Urban-rural Exchange Programs and New Farmers: Case of Farm Work Volunteers	江川 章	Farming Japan	40（1）	2006. 3
大島町農業の展開過程と今後の展望 みかん農業と高齢複合農業	小野智昭	農に還るひとたち 定年帰農者とその支援組織 （農協共済総合研究所・田畑保共編，農林統計協会）		2005. 8
LCAを用いた低投入型酪農の環境影響評価 北海道根釧地域のマイペース酪農を事例として	増田清敬， 高橋義文， 山本康貴， 出村克彦	システム農学	21（2）	2005. 8
日本農村の人口問題	橋詰 登	グローバルエコノミーと北東アジア地域における農業の持続的発展（北東アジア農政研究フォーラム第 3 回国際シンポジウム）		2005.10

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
高齢化の特徴と農業従事日数に占める割合 2000年農業センサスの分析	松久 勉	高齢者が農業，農村地域に果たす役割の影響分析（行政対応特別研究〔高齢者〕プロジェクト研究資料）		2005. 7
東北における人口移動の動向とその要因	松久 勉	第41回東北農業経済学会宮城大会報告要旨		2005. 9

#### 農山漁村及び中山間地域等の経済の活性化政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
地域経済と人口交流	佐藤孝一	第41回東北農業経済学会宮城大会報告要旨		2005. 9
Implementation of ISO14001 in Farm Management:Case of Muchachaen	佐藤孝一	Farming Japan	39(6)	2005.12
わが国における農村型ワーキングホリデーの実態と課題	鈴村源太郎， 渡部岳陽， 竹本田持	ライフスタイルプロジェクト研究資料	5	2005.11
ライフスタイルの変化に対応した農山漁村地域の再生方策に関する研究	千葉 修	農林水産政策研究所レビュー	17	2005.10
中山間地域の活性化要件 農業・農村活性化の統計分析	橋詰 登	(農林統計協会)		2005.10
(書評)能美誠著『農業地域区分・時期区分手法論』	橋詰 登	農業経済研究	77(4)	2006. 3
住民(農業生産者)参加型農村開発	柳 京熙	グローバルエコノミーと北東アジア地域における農業の持続的発展(北東アジア農政研究フォーラム第3回国際シンポジウム)		2005.10

#### 農山漁村及び中山間地域等の資源の保全及び利用高度化のための政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
有機農業推進政策の導入の可否をめぐる経済学的考察	足立恭一郎	有機農業研究年報(有機農業法のビジョンと可能性, コモンズ)	5	2005.12
農業センサスにみる農地利用後退の現状 耕作放棄地の動向および要因分析にあたって	小野智昭	耕作放棄の急増が地域農業や農業融資に与える影響について(長期金融)	95	2006. 3
Development of New Sustainability Index: An Adaptation of Ecological Footprint to Decoupling Index	Yoshifumi Takahashi, Takashi Hayashi and Mitasu Yamamoto	Proceedings of the Seventh International Conference of the Russian Society for Ecological Economics		2005. 6
過疎化・高齢化の併進と農地資源の維持・管理	橋詰 登	農林統計調査	55(4)	2005. 4

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
耕作放棄地の市町村別属地面積の推計 市町村を単位とした時系列面積の 把握手法	橋詰 登	長期金融	93	2006. 3
耕作放棄田の発生要因に関する分析	橋詰 登	長期金融	93	2006. 3
合鴨稲作農家の作付行動 危険回避 と経験効果	藤栄 剛, 井上憲一, 岸田芳朗	農業経営研究	43(1)	2005. 6
農林漁業部門におけるマッチング関数の 推定	藤栄 剛	2005 年度日本農業経済学 会論文集		2006. 3
堆肥運搬・散布サービスと堆肥供給組 織の特徴との関係	井上憲一, 藤栄 剛	第 58 回九州農業経済学会 大会報告資料		2005. 9
農村共有資源管理メカニズムと多面的 機能 農業集落による農業用排水 路管理を一例として	藤栄 剛	平成 17 年度日本農業経営 学会研究大会報告要旨		2006. 3
農村共有資源管理と多面的機能 中 国農村とわが国農業集落の比較研究	藤栄 剛	多面的機能政策の諸相と今 後の展開(多面的機能プロ ジェクト研究資料)	1	2005.12
農林漁業部門の新規就業とマッチング 関数	藤栄 剛	2005 年度日本農業経済学 会論文集		2006. 3

## 3) 国際政策に関する研究

## 食料・農業・農村問題をめぐる国際関係の動向及び国際調整政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
食品に関する新技術の普及と企業・家 計部門の対応	明石光一郎	第 41 回東北農業経済学会 宮城大会報告要旨		2005. 9
食料生産基地移動が環境へ及ぼす影響	明石光一郎	平成 17 年度日本農業経営 学会研究大会報告要旨		2005. 9
FTA・WTOプロジェクト研究	石原清史	農林水産政策研究所レ ビュー	16	2005. 6
Structural Change of World Beef Trade and Its Impact: A Scenario Analysis Using the AGLINK Model	Atsuyuki Uebayashi	Farming Japan	39(3)	2005. 6
牛肉の国際貿易の構造変化とその影響 AGLINKモデルを利用したシナ リオ分析	上林篤幸	農林水産政策研究	9	2005. 6
牛肉の国際貿易の構造変化とその影響 AGLINKモデルを利用したシナ リオ分析	上林篤幸	農林水産政策研究所レ ビュー	17	2005.10
GTAPモデルおよびCGEモデルの解説	川崎賢太郎	FTAと食料 評価の論 理と分析枠組 (鈴木宣 弘編, 筑波書房)		2005. 7
GTAPモデルによる日タイFTAおよ び日韓FTAの分析	川崎賢太郎	FTAと食料 評価の論 理と分析枠組 (鈴木宣 弘編, 筑波書房)		2005. 7

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
国内価格差別措置の貿易への影響について 酪農部門を事例として	空閑信憲	2006年度日本農業経済学会大会報告要旨		2006. 3
最近の世界の穀物等の需給動向について(2005年3月現在)	小泉達治	食料と安全	10(4)	2005. 4
農業者意識の国際比較調査 日本・韓国・イギリス	合田素行	ライフスタイルプロジェクト研究資料	3	2005. 6
海外主要国におけるGMO規制の動向	立川雅司	新しい遺伝子組換え体(GMO)の安全性評価システムガイドブック(八木修身・日野明寛・田部井豊監修, エヌ・ティー・エス出版)		2005. 4
世界農業経済研究所長会議	西尾 健	農林水産政策研究所レビュー	18	2006. 1
OECDと農水省の取り組み	福田竜一	食料と安全	10(8)	2005. 8
農産物輸入関税割当制度改革の効果と影響 アメリカの牛肉輸入関税割当制度での試算	福田竜一	平成17年度日本農業経営学会研究大会報告要旨		2005. 9
米豪自由貿易協定における交渉過程と影響分析 農業問題を中心に	福田竜一	農林水産政策研究	10	2005.11
米豪自由貿易協定における影響分析の結果について 農業問題を中心に	福田竜一	農林水産政策研究所レビュー	18	2006. 1
政治的圧力が関税交渉に及ぼす影響	福田竜一	2006年度日本農業経済学会報告要旨		2006. 3
予防原則の意義	藤岡典夫	農林水産政策研究所レビュー	16	2005. 6
遺伝子組換え作物をめぐる貿易紛争とWTO協定	藤岡典夫	貿易奨励会第4回研究報告書		2005. 7
(連載) 食品安全・動植物検疫措置に関するWTO紛争事例の分析 第1回 EC・ホルモン牛肉事件	藤岡典夫	農林水産政策研究所レビュー	17	2005.10
(連載) 食品安全・動植物検疫措置に関するWTO紛争事例の分析 第2回 オーストラリア・サーモン事件	藤岡典夫	農林水産政策研究所レビュー	18	2006. 1
(書評) 岩田伸人著『WTOと予防原則』	藤岡典夫	フードシステム研究	12(3)	2006. 2
遺伝子組換え体規制をめぐる予防原則とWTOルールの抵触	藤岡典夫	農林水産政策研究叢書	7	2006. 3
(連載) 食品安全・動植物検疫措置に関するWTO紛争事例の分析 第3回 日本・農産物(コリンガ)事件	藤岡典夫	農林水産政策研究所レビュー	19	2006. 3
豪州のGM作物・食品の現状について	渡部靖夫	農林経済	9732	2005.10
農政改革の潮流と国際農業交渉 その影の立役者OECD	渡部靖夫	Techno Innovation	58	2006. 2
本書の課題と構成	渡部靖夫	農林水産政策研究叢書	7	2006. 3

### ヨーロッパ地域の食料・農業・農村の動向及び政策の展開方向に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
(書評) 松田裕子著『EU直接支払制度の構造と機能』	市田知子	農業と経済	71(7)	2005. 6
直接支払いの方向と課題 EUの先例から学ぶ	市田知子	耕(山崎農業研究所)	105	2005. 7
ドイツの農業・農村体験とその支援策 「農場で学ぼう」(Lernen auf dem Hof)の実態調査から	市田知子	農業と経済	71(8)	2005. 7
EU農政改革と農業環境政策の方向 ドイツの事例から	市田知子	平成 17 年度日本農業経営学会研究大会報告要旨		2005. 9
EU農政改革と農業環境政策の方向 ドイツの事例から	市田知子	季刊肥料	102	2005.10
農村地域振興における「地域」 対象から主体へ	市田知子	年報村落社会研究(農山漁村文化協会)	41	2005.11
(書評) 山崎光博著『ドイツのグリーンツーリズム』	市田知子	村落社会研究, 日本村落研究学会(農山漁村文化協会)	12(2)	2006. 3
フランスの新しい農業政策 農業方向付け法案の概要	伊藤正人	農林水産政策研究所レビュー	17	2005.10
フランスの新しい農業政策の方向	伊藤正人	Techno Innovation	58	2006. 2
北イタリアの稲作 - EUコメ政策改革の意義と影響	上林篤幸	2006 年度日本農業経済学会報告要旨		2006. 3
フランスにおける青年の就農政策の重要性	須田文明	高齢者が農業, 農村地域に果たす役割の影響分析(行政対応特別研究[高齢者]プロジェクト研究資料)		2005. 7
欧州における地域ブランド戦略の展開 フランスの地理的表示産品を事例に	須田文明	農業と経済	71(13)	2005.10
EUの「適正農法」GAPによる規律強化と環境プレミアムの展望	須田文明	多面的機能政策の諸相と今後の展開(多面的機能プロジェクト研究資料)	1	2005.12
欧州における遺伝子組換え政策の動向	立川雅司	農林水産政策研究所レビュー	16	2005. 6
EU加盟国における遺伝子組換え作物と非組換え作物との共存方策の動向	立川雅司	農業生物資源研究所研究資料	5	2005. 8
EUにおける遺伝子組換え作物関連規制の動向 食品・飼料規則制定後の動きを中心に	立川雅司	農林水産政策研究叢書	7	2006. 3

### アメリカ・オセアニア地域の食料・農業・農村の動向及び政策の展開方向に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
アメリカにおけるGAP (Good Agricultural Practices) の現状	熱田健一, 山本昭夫	食, 農, 環境に関する政策ニーズ等調査研究資料(先駆者・支援プロジェクト研究資料)	1	2005.11

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
アメリカの酪農産業における構造変化の軌跡と今後の展望	勝又健太郎	月刊NOSAI	58(3)	2006. 3
米国ニューヨーク州の生乳生産コストに関する実証分析	勝又健太郎	2006年度日本農業経済学会大会報告要旨		2006. 3
国際砂糖価格と需給に与える要因 ブラジルにおけるエタノール政策・需給動向	小泉達治	砂糖類情報	115	2006. 3
ブラジルにおけるバイオエタノール政策の動向と課題	小泉達治	Techno Innovation	59	2006. 3
ブラジルにおけるバイオディーゼル計画 大豆需給に与える影響	小泉達治	2006年度日本農業経済学会大会報告要旨		2006. 3
外麦政府売渡価格引き下げ下における 大手製粉企業の戦略的企業行動	小島 泰友	フードシステム研究	12(3)	2006. 2
米国農務省食品安全検査局の食品安全行政について	近藤 浩	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ (第2集)(危機管理プロジェクト研究資料)	3	2005. 7
The Trend of the Agro-food Trade of Brazil	清水純一	Farming Japan	39(5)	2005. 9
快進撃を続けるブラジル農産物輸出とその源泉	清水純一	ブラジル特報	1569	2005. 9
諸外国における組換え農産物の生産・流通・消費動向及びフードシステムに及ぼす影響の解明	立川雅司, 井上荘太郎, 千葉 典	遺伝子組換え体の産業利用における安全性確保総合研究(研究成果428,農林水産省農林水産技術会議事務局)		2005. 3
農と食における「社会正義」	立川雅司	村落社会研究	23	2005.10
ポスト生産主義への移行と農村に対する「まなざし」の変容	立川雅司	年報村落社会研究(農山漁村文化協会)	41	2005.11
アメリカにおける遺伝子組換え作物をめぐる規制・生産・流通の動向	立川雅司	農林水産政策研究叢書	7	2006. 3
オーストラリアの遺伝子組換え作物・食品関連規制の動向と課題	渡部靖夫	農林水産政策研究叢書	7	2006. 3

#### アジア・アフリカ地域の食料・農業・農村の動向及び政策の展開方向に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
切り花消費の数量分析	會田陽久, 石田 章	日本農業市場学会 2005 年度大会報告要旨		2005. 7
日韓の製粉産業の比較	會田陽久	第 41 回東北農業経済学会宮城大会報告要旨		2005. 9
韓国の野菜生産, 流通, 消費の動向	會田陽久	野菜情報	20	2005.11
切り花消費の数量分析	會田陽久, 石田 章	農業市場研究	14(2)	2005.12

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
韓国における環境保全型農業への取り組み動向調査	足立恭一郎	食, 農, 環境に関する政策ニーズ等調査研究資料(先駆者・支援プロジェクト研究資料)	1	2005.11
Comparative Advantage in International Trade: Empirical Evidence to Disprove "Pop Internationalism"	Junichi Ito	Proceeding of Northeast Asian Symposium on Agricultural Product Trade. Chonbuk National University		2005.11
Economic and Institutional Reform Packages and their Impact on Productivity: A Case Study of Chinese Township and Village Enterprises	Junichi Ito	Journal of Comparative Economics	34(1)	2006. 3
ベトナム農協の新潮流 首都近郊農村における畜産専門農協の事例より	岡江恭史	2005 年度日本農業経済学会大会報告要旨		2005. 7
2000 年夏期ソム・チャイノイ金融調査報告	岡江恭史	百穀社通信	12	2006. 2
農業銀行・貧民銀行調査報告	岡江恭史	百穀社通信	13	2006. 2
ベトナム農民組織の新潮流	岡江恭史	2005 年度日本農業経済学会論文集		2006. 3
(書評) 藤田幸一著『バングラデシュ農村開発のなかの階層変動 貧困撲滅のための基礎研究』	香月敏孝	アジア・アフリカ地域研究	5(1)	2005.10
中国の食糧需給政策の転換と今後の課題	河原昌一郎	平成 16 年度アジア大洋州地域食料農業情報調査分析検討事業実施報告書(国際農林業協力・交流協会)		2005. 3
中国食糧政策の最近の動向 国際競争志向政策の展開と課題	河原昌一郎	製粉振興	461	2005. 5
中国における農村金融の展開と農村信用社の組織的性格(下)	河原昌一郎	農林水産政策研究	9	2005. 6
中国食糧政策の最近の動向と今後の課題	河原昌一郎	農林経済	9703	2005. 6
中国の食品安全制度と畜産物のトレーサビリティ	河原昌一郎	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ(第2集)(危機管理プロジェクト研究資料)	3	2005. 7
中国における農村金融の展開と農村信用社の組織的性格	河原昌一郎	農林水産政策研究所レビュー	17	2005.10
中国の食品トレーサビリティに関する考察 その類型化と食肉企業の事例から見た内需型食品トレーサビリティの成立条件	河原昌一郎	現代中国	79	2005.10
中国の土地請負経営権の法的内容と適用法理	河原昌一郎	農林水産政策研究	10	2005.11
中国の土地請負経営権の法的内容と適用法理	河原昌一郎	農林水産政策研究所レビュー	18	2006. 1

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
中国の食品トレーサビリティの動向と課題	河原昌一郎	農林経済	9760	2006. 2
Impacts of the Chinese Fuel-Ethanol Program on the World Corn Market: An Econometric Simulation Approach	Tatsuji Koizumi and Keiji Ohga	The Japanese Journal of Rural Economics	8	2006. 3
中国における燃料用エタノール推進計画の実態と課題 とうもろこし需給に与える影響	小泉達治	2005 年度日本農業経済学会論文集		2006. 3
西アフリカの低湿地稲作の拡大と集約化を決定する社会経済的要因 コートジボワールとガーナの比較から	櫻井武司	アフリカの農業, その課題と可能性 (アフリカ農業懇話会)		2005. 6
Lesson Learnt from International Assessments: Synthesis of the Reports on African Development	Takeshi Sakurai	J-FARD & JIRCAS International Symposium "Perspectives of R&D for Improving Agricultural Productivity in Africa" abstracts		2005. 7
戦乱ショックに起因する貧困と砂漠化 ブルキナ・ファソの農家計データをを用いた実証	櫻井武司	2005 年度日本農業経済学会論文集		2006. 3
ソーシャルキャピタルと貧困削減 スリランカにおける実証	宗像 朗, 櫻井武司	第 16 回国際開発学会全国大会報告論文集		2005.11
ソーシャルキャピタルのソーシャルセイフティネット機能 ブルキナ・ファソの事例	櫻井武司	第 16 回国際開発学会全国大会報告論文集		2005.11
サヘル農家の脆弱性と土壌劣化の関係 解明および政策支援の考察	櫻井武司, 田中 樹, 真常仁志, 内田 諭	地球環境研究総合推進費平成 16 年度研究成果 中間成果報告集 (環境省地球環境局研究調査室)	6	2006. 2
Analyses of Household and Community Responses to Environmental Variability: The Case of Drought in the Semi-Arid Tropics	Takeshi Sakurai	Vulnerability and Resilience of Social-Ecological Systems: FY2005 Project Report (Research Institute for Humanity and Nature)		2006. 2
産業集積の効率・品質改善効果 ガーナ精米業の事例	櫻井武司, 古家 淳, 二口浩一	市場と経済発展 途上国における貧困削減に向けて (東洋経済新報社)		2006. 3
農民は圃場特異的な降水量変動リスクに備えているか? 西アフリカ半乾燥熱帯における実証	櫻井武司	2006 年度日本農業経済学会大会報告要旨		2006. 3
中国における遺伝子組換え作物をめぐる規制・生産・流通の動向	立川雅司	農林水産政策研究叢書	7	2006. 3
韓国における重化学工業化政策の効率性分析	樋口倫生	韓国経済研究	5	2005. 8
韓国農業部門の相対的縮小要因	樋口倫生	2006 年度日本農業経済学会報告要旨		2006. 3

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
農業の位置付け	樋口倫生	韓国農業の展開と戦略 (FTA・WTOプロジェクト研究資料)	2	2006. 3
食品産業	樋口倫生	韓国農業の展開と戦略 (FTA・WTOプロジェクト研究資料)	2	2006. 3
韓国における育苗事情 ターの事例分析を通じて	育苗セン 柳 京熙, 姜 暲求	野菜情報	16	2005. 7

## ( 2 ) 講演及び口頭発表

講演者	演 題	講演会名	発表年月日
相川良彦	日本の山村と高齢者の生活	北東アジア農政研究フォーラム第3回国際シンポジウム(農林水産政策研究所, 中国農業科学院農業経済発展研究所, 韓国農村経済研究院共催)	2005.10.26
足立恭一郎	韓国の親環境農業政策の現状について	有機農業推進議員連盟第9回勉強会	2005. 6. 8
足立恭一郎	「有機農業推進法(学会試案)」について	有機農業推進議員連盟第11回勉強会	2005.10.19
市田知子	EUにおける農業環境政策 農業者の参加とその効果	平成17年度関東東海土壌肥料技術連絡協議会春季研究会	2005. 4.21
市田知子	ドイツ, フランスにおける農業環境政策と有機農業支援の現状	有機農業推進議員連盟第8回勉強会	2005. 5.25
市田知子	EU農政改革と農業環境政策の方向 ドイツの事例から	海外農業政策に関する講演会(海外農業研究会(農林水産省))	2005. 7.20
市田知子	EU農村地域開発とLEADERプログラムの実際	農林水産省農村振興局事業計画課主催勉強会	2005. 8.23
伊藤順一	China's Policy Options for the Maintenance of Food Self-Sufficiency: Migration, Technological Change and Regional Comparative Advantage	TEA研究会	2005.11.26
伊藤順一	Economic and Institutional Reform Packages and their Impact on Productivity: A Case Study of Chinese Township and Village Enterprises	TEA研究会	2005. 7.16
伊藤順一	Collective Action for Local Commons Management: Hypotheses from Evolutionary Game Theory and Empirical Evidence	TEA研究会	2006. 3.29
伊藤正人	フランス農業法の改正	海外農業政策に関する講演会(海外農業研究会(農林水産省))	2005. 9. 7

講演者	演題	講演会名	発表年月日
上林篤幸	国連世界人口予測シナリオ及び国際穀物需給パイロットモデルによる、世界穀物市場の2030年までの長期シナリオ予測および、諸外国のモデル実施体制について	総合食料局長勉強会（農林水産省総合食料局食料企画課）	2006. 3. 9
江川 章	新規就農をめぐる情勢と課題	新規就農・就業・田舎暮らし推進セミナー in 岡山（全国農業会議所）	2005.10.12
江川 章	都市農村交流の新段階	北東アジア農政研究フォーラム第3回国際シンポジウム（農林水産政策研究所，中国農業科学院農業経済発展研究所，韓国農村経済研究院共催）	2005.10.25
江川 章	農業経営の継承と参入	農業経営・労働管理専門家養成講座スクーリング（農山漁村女性・生活活動支援協会）	2006. 1.11
岡江恭史	ベトナム北部村落の新設合作社	ベトナム社会文化研究会（東洋大学）	2005. 6. 4
岡江恭史	ベトナムの新設合作社とその人的結合の分析	ベトナム研究会（ベトナム日本人材協力センター）	2005.12.20
勝又健太郎	米国ニューヨーク州の生乳生産コストに関する実証分析	2006年度日本農業経済学会大会個別報告	2006. 3.31
川崎賢太郎	GTAPモデルの解説	農林水産省大臣官房国際調整課	2005. 9.29
河原昌一郎	輸入食品の安全確保対策（中国野菜を例として）	新神戸事業所落成および協会創立55周年記念シンポジウム（日本冷凍食品検査協会）	2005. 7. 8
小泉達治	中国における燃料用エタノール推進計画の実態と課題	第1987回定例研究会報告要旨	2005. 7.18
小泉達治	中国における燃料用エタノール推進計画の実態と課題 とうもろこし需給へ与える影響	2005年度日本農業経済学会口頭報告	2005. 7.18
小泉達治	ブラジルのエタノール・砂糖政策の展開と課題	生産局特産振興課長勉強会（農林水産省生産局特産振興課）	2006. 1.18
小泉達治	ブラジルのエタノール政策の展開と課題	ブラジル情報交換会（日本貿易振興機構）	2006. 1.24
小泉達治	ブラジルにおけるバイオディーゼル計画 大豆需給に与える影響	2006年度日本農業経済学会口頭報告	2006. 3.31
小島泰友	輸入関税削減及び農業効率向上がもたらす価格伝達性への相互的影響 「新しい産業組織論」に基づく理論的考察	日本フードシステム学会2005年度大会個別報告	2005. 6.19
小島泰友	砂糖・甘味資源作物のフードシステムに関する実証分析 糖価調整制度下における甜菜直播の導入促進効果の試算	2005年度日本農業経済学会大会個別報告	2005. 7.18
小島泰友	産地品種別自由米の銘柄間価格差に関する定量分析 基準銘柄の選定と銘柄間価格差の発生確率をめぐって	平成17年度日本農業経営学会研究大会個別報告	2005. 9.18

講演者	演題	講演会名	発表年月日
小林茂典	野菜の用途別需要の動向と特徴	日本フードシステム学会 2005 年度大会 個別報告	2005. 6. 19
小林茂典	野菜の用途別需要の変化と今後の対応	平成 17 年度普及指導員研修（栃木県経営技術課）	2005. 7. 8
小林茂典	野菜の加工・業務用需要の動向と特徴	野菜の加工・業務用需要への対応に関する推進会議（関東農政局）	2005.10.21
小林茂典	加工・業務用野菜の品目別・実需者別ニーズについて	加工・業務用野菜に関する研究戦略会議（野菜茶業研究所）	2005.10.28
小林茂典	野菜の加工・業務用需要の動向と国内産地の対応課題	中国四国ブロック加工・業務用野菜情報交換会（中国四国農政局，日本施設園芸協会）	2005.10.31
小林茂典	「地産地消」の展開条件と課題に関する一考察	2005 年度農業問題研究学会秋季大会個別報告	2005.11.26
小林茂典	食の外部化の進展と加工・業務用野菜需要への対応	近畿ブロック加工・業務用野菜情報交換会（近畿農政局，日本施設園芸協会）	2005.12. 2
小林茂典	野菜の用途別需要の動向と今後の対応課題について	うつくしま園芸特産物生産拡大推進大会（福島県）	2006. 1. 17
小林茂典	加工・業務用野菜のニーズと産地の対応方策	加工・業務用野菜推進シンポジウム（日本施設園芸協会他）	2006. 2. 7
小林茂典	野菜の加工・業務用需要の動向と今後の対応課題	加工・業務用野菜に関する研修会（千葉県）	2006. 2. 23
小林茂典	加工・業務用野菜の現状と産地の対応について	神奈川県園芸種苗対策協議会研修会（神奈川県園芸種苗対策協議会）	2006. 3. 14
合田素行	日本の多面的機能の議論と政策的課題	北東アジア農政研究フォーラム第 3 回国際シンポジウム（農林水産政策研究所，中国農業科学院農業経済発展研究所，韓国農村経済研究院共催）	2005.10.26
合田素行	The Multifunctionality as a Tool for Rural Sustainable Development	ASEAN 多面的機能評価プロジェクト専門家会合	2006. 3. 14
櫻井武司	The Role of Community in Economic Development: Evidence and Issues	Symposium on Redesigning Integrated Community Development (Asian Productivity Organization)	2005. 4. 25
櫻井武司	Civil War Shock, Transient Poverty, and Desertification: A Natural Experiment in West Africa	TEA2005 年度春季研究会	2005. 7. 16
櫻井武司 ほか	ソーシャルキャピタルの逆U字仮説とスリランカにおける貧困削減	「社会調査の品質向上」第 15 回研究会（国際開発学会「社会調査の品質向上」研究部会）	2005. 7. 23
櫻井武司	一時的貧困と環境破壊 西アフリカの砂漠化の事例	環境経済・政策学会 2005 年大会	2005.10. 9
櫻井武司	圃場特異的な降水量変動に農家はいかに対処しているか 西アフリカ，マリにおける実証	第 11 回レジリアンス研究会（総合地球環境学研究所）	2005.11.25
櫻井武司 ほか	Pauvreté・Transitoire et Degradation Environnementale: Le Cas de Burkina Faso	Séminaire Spécial ( Université de Ouagadougou )	2006. 3. 9

講演者	演題	講演会名	発表年月日
櫻井武司	Plot-Specific Rainfall Risk and Farm Households Risk Management in Mali, West Africa	TEA会 2006 年度春季研究会	2006. 3.29
高橋克也	The Changing Consumer Lifestyle and Food Industry in Japan	Annual Meeting of Korean Society of Food Science and Technology (KoSFoST) Seoul, Korea Republic	2005. 6.16
高橋祐一郎	市民参加型テクノロジー・アセスメント(pTA)の展望 行政や議会の関心を高めるには	科学技術への市民参加を考える会(AJCOST)平成17年度第1回勉強会	2005. 5.28
高橋祐一郎	市民社会における合意形成プロセスの変革 説得から対話による相互理解の醸成へ	第33回失敗学懇談会(失敗学会)	2005.10. 7
高橋祐一郎	失敗と市民参加	化学・生物総合管理の再教育講座 リスク学事例研究2(お茶の水女子大学公開講座)	2005.10.28
高橋義文	エコロジカル経済学の理論と実証に関する研究	定例研究会(滋賀大学大津サテライトプラザ)	2005. 9. 6
高橋義文, 林 岳 ほか	メゾ環境会計における持続可能性評価指標の開発 EFとデカップリング指標による地域農業の持続可能性	環境経済・政策学会 2005 年大会	2005.10.10
高橋義文	農業の持続可能性の評価手法の開発 経済・環境負荷・多面的機能の三側面から	北東アジア農政研究フォーラム第3回国際シンポジウム(農林水産政策研究所, 中国農業科学院農業経済発展研究所, 韓国農村経済研究院共催)	2005.10.26
立川雅司	(座長解題) 農業補助金に関する海外セッションにおける議論と主要論点	国際社会学会食料農業研究委員会・地域農林経済学会共催シンポジウム	2005.10.28
立川雅司	Biosafety Options and Their Implications on Public Research	APEC Conference on Biosafety Policy Option, Manila, the Philippines	2006. 1.16 ~ 18
立川雅司, 高橋祐一郎	農業・食品分野へのナノテク応用とその社会経済倫理的含意 遺伝子組換え作物の経験から学ぶこと	第5回ナノテクノロジーの倫理・社会影響に関する委員会(物質・材料研究機構)	2006. 1.27
田中淳志	透過型砂防堰堤の概説	水生昆虫談話会第277回例会	2005. 6.18
西尾 健	Statistics and Policy Reform on Japanese Agriculture	Global Club of Directors of Agricultural Economic Research Institutes 6th Meeting	2005. 8.23
西尾 健	PRIMAFF and Research on Food Safety	RIKLT-Institute of Food Safety (Wageningen UR)	2005. 8.24
橋詰 登	日本農村の人口問題	北東アジア農政研究フォーラム第3回国際シンポジウム(農林水産政策研究所, 中国農業科学院農業経済発展研究所, 韓国農村経済研究院共催)	2005.10.25
橋詰 登	「地域活性化」指標の体系化と農村自治体の活力診断	平成17年度統計専門職員地方研修(東海農政局統計部)	2005.11. 1

講演者	演題	講演会名	発表年月日
橋詰 登	農業センサス分析の視点と地域農業構造の予測手法	平成 17 年度統計専門職員地方研修（東海農政局統計部）	2005.11. 1
橋詰 登	農業センサス分析の視点と分析事例	平成 17 年度管内分析等検討会（近畿農政局統計部）	2005.11. 8
橋詰 登	地域農業・農村の活性化に何が 必要か 統計分析から中山間地域の 活性化要件を検討する	農業・農村の構造変化に対応した施策展開のあり方に関する勉強会（農村振興局）	2005.12. 8
林 岳， 高橋義文 ほか	How Can We Evaluate Sustainability of the Agriculture?: An Evaluation by the NAMEA and the Ecological Footprint	European Society for Ecological Economics	2005. 6.15
林 岳， 高橋義文 ほか	Does Agriculture Achieve Sustainable Development?: An Application of the NAMEA and the Ecological Footprint	19th Pacific Regional Science Conference, Nihon University College of Economics, Tokyo, Japan	2005. 7.27
樋口倫生， 吉田泰治	「牛の月齢判別に関する検討会」報告書に対する考察	日本フードシステム学会 2005 年度大会 個別報告	2005. 6.19
樋口倫生	韓国農業部門の相対的縮小要因	2006 年度日本農業経済学会個別報告	2006. 3.31
柳 京熙	住民（農業生産者）参加型農村開発	北東アジア農政研究フォーラム第 3 回国際シンポジウム（農林水産政策研究所，中国農業科学院農業経済発展研究所，韓国農村経済研究院共催）	2005.10.26
吉井邦恒	アメリカ・カナダの農業経営安定対策 制度運営と新たな動きを中心に	「アメリカ・カナダの農業経営安定対策に係る現地調査」報告会（全国農業共済協会）	2005. 4.27
吉井邦恒	アメリカ・カナダの経営安定対策について	海外農業政策に関する講演会（海外農業研究会（農林水産省））	2005. 7.13
吉井邦恒	新たな経営安定対策について	職員研究会（宮城県農業共済組合連合会）	2005. 9. 1
吉井邦恒	新たな農業経営安定対策について アメリカ・カナダの事例を参考に	組合長・参事研修会（福島県農業共済組合連合会）	2005.10.14
吉井邦恒 ほか	Applying Mathematical Modeling Approaches for Investigating Japan's Food Supply Security System	INFORMS 2005 Annual Meeting（オペレーションズ・リサーチ学会）	2005.11.15
吉井邦恒	農家別データを用いた品目横断的経営安定対策への接近	品目横断的経営安定対策に係る現地検討会（北海道農業共済組合連合会）	2006. 2.23
吉井邦恒	農家別データを用いた品目横断的経営安定対策への接近	品目横断的経営安定対策検討会（宮城県農業共済組合連合会）	2006. 3.14
渡部靖夫	遺伝子組換え作物・食品を巡る国際情勢	平成 17 年度食糧貿易実務研修（食料消費技術研修館）	2005. 6. 8
渡部靖夫	遺伝子組換え作物・食品をめぐる国際的な情勢	食料安全保障研究会公開セミナー（アフリカ日本協議会）	2005. 7.23
渡部靖夫	Diversified situations of Biosafety Regulation in countries in the World	遺伝子組換え農作物のリスク評価管理法に関する研修会（FAOアジア太平洋事務所）	2005. 7.26